

出ていけ！うそ電話サギ プランニングシート

1 題材 うそ電話サギについて

- 2 目標
- ・詐欺に遭ったときの対処方法を身につける。
 - ・詐欺に遭わないための知識を身につける。
 - ・学んだことを家族や友人に伝える。

3 講座の展開

	内容	備考
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつと講座名確認「出ていけ！うそ電話サギ」 ●「悪質業者お断りの歌」を歌う <ul style="list-style-type: none"> ・2番目の歌詞について言及する ●詐欺に対する意識を把握する <ul style="list-style-type: none"> ・「自分は絶対にだまされないと思うか？」 ●5人程度のグループをいくつか作り、カルタ大会をする <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを説明する <p>※さりげなく、年長者のほうにカルタの絵札を向けて並べる ※カルタ大会の間に、グループごとの写真を撮影する パソコンで、まとめのプリントに撮影した写真を挿入し、モバイルプリンターで人数分、印刷しておく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名札 ・プロジェクター用のパソコン ・プロジェクター ・スクリーン ・印刷用のパソコン ・モバイルプリンター ・スマホ（カメラ）
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ●手口を知ること、予防していくことを伝える ●ATMの認知度と使用度を把握し、ATMについて説明する <ul style="list-style-type: none"> ・「ATMを知っているか？」「使ったことがあるか？」 ・通帳やキャッシュカードを使って自分の口座に現金を預け入れたり、自分の口座から現金を引き出したりすることができる ・他人の口座へ振り込みもできる ・銀行や郵便局、コンビニに設置されている ●ATMを使った典型的なうそ電話サギの手口を寸劇で紹介することを伝える ●寸劇をする <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ銀行ではなくコンビニかを問いかける ・還付金サギの説明をする ●被害にあったら、どんな気持ちになるか？ <ul style="list-style-type: none"> ・寸劇を活用して詐欺被害者の気持ちをグループで話し合ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者用のカッラ ・詐欺師用のサングラス ・高齢者と詐欺師の下げ札 ・電話を模した紙 ・スピーカーフォン機能のあるケータイかスマホ ・うそ電話撃退装置の申込先の紙

- 誰が一番悪いのかを問いかける
 - ・詐欺師が 100%悪いことを強調する

- 自分だったらどこに、誰に相談するかをグループで話し合ってもらおう
 - ・寸劇を活用する
 - ・「だまされてしまった後に本当に家族に相談できるか？」

- だまされてしまったり、だまされそうになったりしたときの相談窓口の紹介
9 1 1 0 の紹介

- だまされてしまったり、だまされそうになったりしたときの相談窓口の紹介
 - ・ # 9 1 1 0、1 8 8 の紹介

- 電話を模した紙をグループに 1 枚ずつ配り、# 9 1 1 0 を押してもらおう

- 188 の紹介

- グループに 1 人ずついるサポーターの電話をスピーカーフォンにして、実際に 188 に電話をかけてみる
※音声の途中で切ること

- なぜ相談する必要があるのかを説明する

- だまされないためにはどうすればよいか考えることを伝え、寸劇でだまされた A さんに、どうしてだまされてしまったかを聞く
(高齢者 A さん)
 - ・欲に目がくらんだ
 - ・今日までと言われて焦った
 - ・いつも ATM を使って年金を引き出していたけれど、ATM で振込をしたことがなかったので、よくわからなかった
 - ・自分は年金暮らしだし、お金がないから大丈夫だと思っていた
 - ・自分は絶対だまされないという自信があった

- 少額の詐欺もあり、他人事ではないという意識を高める
 - ・A さんの発言を利用する
 - ・詐欺被害額が 1 ～ 1 0 万円の被害者数、被害額などを説明する

- 誰でもだまされる可能性があることを伝える
 - ・A さんの発言を利用する
 - ・だまされないと思ってだまされた人のデータを表示する

	<ul style="list-style-type: none"> ●うそ電話サギ撃退装置について説明する <ul style="list-style-type: none"> ・警察が無料で貸し出していることを伝えるとともに、申込先が記載してある紙を配布する ●だまされないためにはどうすればよいかをグループで話し合ってもらおう <ul style="list-style-type: none"> ・自分が普段行っている対策などについて話すように促す ●だまされないために重要なことについて、説明する ●再度、詐欺に対する意識を把握する <ul style="list-style-type: none"> ・「自分は絶対にだまされないと思うか？」 	
<p>まとめ</p> <p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・まとめのプリントを配り、プリントに沿って学んだことをまとめる ・音読する ●誰に伝えるか <ul style="list-style-type: none"> ・誰に伝えるかをまとめの紙に書いてもらう ●講座のお礼 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめのプリント ・えんぴつ

原案：2016年度「消費者教育論」受講者

修正：上門千代

作成：鹿児島大学教育学部 石橋愛架 2016年度